

つばさ

～男女が支えあい、いきいきと暮らせるまちをめざして～



▲白山町大発苑自治会
前自治会長 久保 俊子さん



▲「日本女性会議2000津」
実行委員長 土川 禮子さん

▼大河ドラマ「江」



はじめて
ゴーちゃんです



ご存知
シロモチくんです



▲「日本女性会議2000津」
津市担当 沖島 和久さん

Illustration by 940302. Design by 4473



- 主な内容
- ◇「日本女性会議2000津」から10年
 - ◇まちを元気にする男女(なかま)たち
～第7回：白山町大発苑自治会前自治会長 久保 俊子さん～
 - ◇「男女共同参画に関する市民意識調査《報告書》」
に見る津市の現状(その5)
 - ◇父親を楽しもう!!
 - ◇ぶらりライブラリー(きらめき図書館)

NO.9

2010.9

◆ つばさ各号は、下記のホームページで閲覧できます。

<http://www.info.city.tsu.mie.jp/modules/danjokyodosankakushitsu/article.php?articleid=1>

『つばさ』

「誰もが自由な心で生きられる社会を思い、男女共同参画社会の実現に向かって飛躍していきたい」という願いを込め、その力となる「翼=つばさ」を象徴しています。

津市

「日本女性会議2000津」から10年



2000年11月10・11日、津市で第17回「日本女性会議2000津」が開催されました。今年はそれからちょうど10年。「日本女性会議2000津」は私たちにとってどんな意味があったのか、10年経って津市の男女共同参画はどう変わったのか、振り返ってみましょう。

200人以上の男女実行委員が手づくりで成し遂げた!!

当時の実行委員長・土川禮子さんと、津市の担当・沖島和久さんにうかがいました。

一きっかけは何だったのですか？

土川：1995年北京世界女性会議から帰った三重の女性たちが、自分たちも何かしなければと思っていた頃でした。三重で女性人材を育てたい、その女性たちの活躍の場をつくりたいという願いから、2000年という区切りの年に、日本女性会議を津市に招致しました。

一他の日本女性会議との違いは？

土川：他都市では、婦人会や各団体女性部など既存の組織を利用して実行委員会をつくるのが主でしたが、私たちは、すべて個人の立場で公募しました。その結果、津市内外から200名を超える人たちが集まりました。男性もいました。

また業者に任せることなく、それぞれの実行委員が得意分野を生かし、すべて手づくりのイベントとなりました。

一どんな女性が集まりましたか？

土川：家にいる人も働いている人も、いろいろな女性・男性が実行委員になりました。連日夜遅くまで頑張りました。立場はさまざまでも思いは一つ、終わった後は、達成感でみんなすごく泣いたことを覚えています。

その後も、各地でそれぞれに活動を継続し、実行委員会は、女性登用の窓口になったと思います。



土川禮子さん



沖島和久さん

一どんな思い出がありますか？

沖島：当時は「男女共同参画」という言葉はなく「女性行政」といいました。準備会から3年間、実行委員も行政も一緒になって行いました。いろいろな人との出会いが思い出です。当日2日間で延べ4000人が全国から集まりました。

一男性会議もされたそうですね？

沖島：前年の1999年にプレ会議として開催しました。津市が最初だと思います。実行委員会に男性もいて、「男性も女性も同じ。男女がともに考え、協力して会議を盛り上げていこう。」と企画しました。

「男女共同参画は進んだのか？
～日本女性会議2000津から10年～」

2010年10月23日(土)
10:30～16:30
津センターパレスホール(5階)

お申し込み・お問い合わせは、
主催 三重短期大学地域連携センター 059-232-2341まで

10周年を記念し、
当時の関係者の
皆さんも集結し
ます。

そうや！女も男もおんなじ人間やんか

「日本女性会議2000津」テーマ

こんなに変わった!?津市の男女共同参画

市（町村）議会女性議員割合

5.9% → 13.9%

〔2000年時点での旧10市町村議会における女性議員割合〕
〔2010年6月現在津市議会における女性議員割合〕

10年前に比べ女性議員割合は2倍以上になり、政策決定の場への女性の進出が進んでいることがわかります。ただこの13.9%という数字は、県内14市議会の中くらいで、男女共同参画宣言都市としては少し寂しいかもしれません。

男女賃金格差（三重県）

64.8% → 68.0%

（2000年）

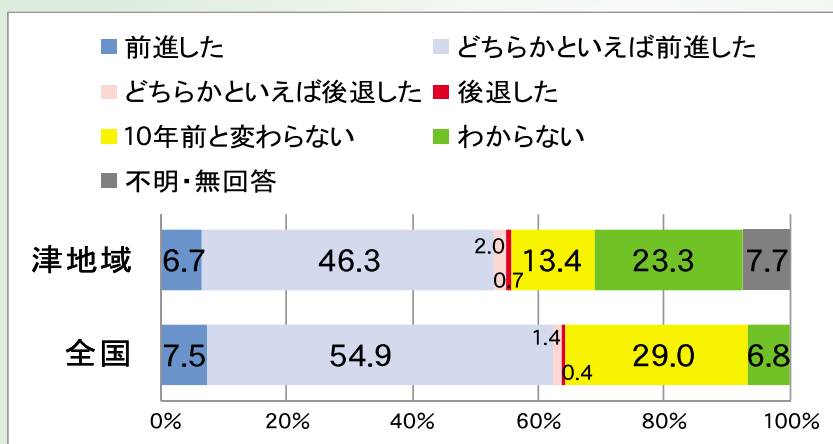
（2009年）

〔厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成12年・21年より）。男女一般労働者（パートタイムを除く）の所定内給与額の比較。男性を100%とした時の女性の賃金%〕

格差のわずかな解消は、男性賃金低下の影響大。全国平均69.8%と比べてもまだまだです。また三重でも女性労働者の36.9%がパートのため、実際の賃金格差はもっと大きいです。

10年前に比べ、社会の制度や慣行は、男女間の固定的な役割分担意識にとらわれず、性別にかかわらず様々な活動ができるようになっていますか。

「男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）」
〔三重県「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」平成21年より〕



「前進した」「どちらかといえば前進した」の合計が半数以上を占めるのは良い結果と言えますが、全国よりも10%近く低くなっています。また「10年前と変わらない」と感じる人は全国の半数以下ですが、逆に「わからない」とする人が3倍以上もいるのが気になります。男女共同参画に対する理解不足、または無関心を示しているのなければよいのですが。

三重県内男女共同参画連携映画祭

「アイスエイジ3」を上映しました!

津市では、これからの社会を担う子どもたちが、自分にあったステキな生き方、そして自分の近くにいる人を大切にすることが、「男女共同参画」につながっていることを知ってもらおうという願いを込めて、6月27日（日）サンヒルズ安濃「ハーモニーホール」にて、「アイスエイジ3」を上映しました。

当日は、あいにくの天気となりましたが、雨に負けない子どもたちの元気な笑い声が、場内に響いていました。

子どもたちが生きていく中で、この映画のキャラクターの生き方を思い出していいただければと思います。



まちを元気にする男女(なかま)たち・第7回

白山町大発苑自治会 前自治会長 久保俊子さん



～自治会は日々の家庭生活の延長。
女性だからできないことはない。～

昨年度のわあむ津“トーク&トーク”「自分らしく生きる」で、パネラーの一人として登壇された久保俊子さん。その実行力と人柄に「もっと詳しくお話を」と、編集スタッフがご自宅におじゃましました。久保さんは「この春、会長を次の方に引き継いだから」とおっしゃりつつ、自治会の立ち上げと会長になったいきさつなどを私たちに語ってくださいました。

見ず知らずの土地へ突然の引っ越し

同窓会から戻った夫が「三重で家を買ってきた」!

伊豆で悠々自適、第二の人生を過ごしていた2001年の5月、名張の同窓会から戻った夫が「三重で家を買ってきた。引っ越しぞ」。私は「ちょっと待ってください」と言うものの、伊豆の家も売れてしまい、7月にはしかたなく、ここ大発苑へ引っ越してきました。



この土地で自分から動き出そう

大阪の会社が開発したセカンドハウス用の住宅地。最初は草もぼうぼうで、こんな所でこれから生活するのかと、毎日泣いて暮らしました。そのうちに「泣いていてもしょうがない。良くするのも悪くするのも自分。この土地で自分から動き出そう」と考え方を切り替えました。

まずこのゴミの山をなんとかしたい

集積場はゴミの山

まず気になったのはゴミです。集積場はひどい状態で、回収車が来てもゴミの山がなくなりません。未分別のままよそから持ってくる人たちがいたからです。しかたなく家へ全部持ち帰り、分別しなおし、きれいに掃除をした集積場に置き直しました。ところが1週間も経たぬ間に元どおりのゴミの山。一人ではイタチごっこでした。管理会社は大阪で、依頼してもすぐ対応できる状態ではありませんでした。



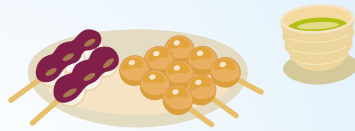
思いはみな一緒! 一歩前へ

それでも何とかしたいと、住んでいるお宅の1軒1軒を訪ね、声を掛けていきました。話してみると、皆さんの思いは一緒でした。自分一人では何ができるかわからない。それで一歩前へ出る人がいなかったのです。その時たまたま最初に一歩、前へ踏み出したのが私だったのです。

こうして14軒で当番を組み、みんなで集積場を少しずつきれいにしていきました。

親睦会の大切さ

月1回のお茶飲み会



引っ越した当初、月に1回10人くらいで「親睦会」というお茶飲み会をしていました。最初は私の家で、そのうちお茶菓子を持ち寄り、会場も持ち回り制になりました。よそから来て友達もいない主婦たちが、唯一そこに集まって話ができる。解放された気持ちになり、とても楽しかったです。

ゴミ問題解決 そして自治会へ

ゴミ問題の時は、その親睦会の方たちに声掛けをしたところ、進んで当番を引き受けてくださいました。日頃の親睦があったからこそ、みんなで問題を解決することができたのだと思います。ところが今度「自治会」として正式に発足したところ、親睦会のメンバーだった皆さんからは、親睦会がなくなって寂しいという声も出ています。



自治会を立ち上げ、自治会長に

周りの自治会のお世話になるばかりではいけない

新潟地震の後、自主防災が言われ、私たち大発苑の一時避難所が、白山町倭の南出地区クラブに指定されました。そこで、南出の他の自治会の方々のお世話になるばかりではと、自分たちで自治会を立ち上げようということになりました。

なんとかここを住みよい地域にしたい

行政や、周りの自治会長の方々の家に伺い、自治会の立ち上げ方を聞いたり、受け入れをお願いしたりしました。倭は昔ながらの地域ですが、丁寧に教えてくださり、快く受け入れてくださいました。私が女性だったから受け入れてもらえたのかもしれませんが。正式に受け入れとなった会の席で「意思表示から数か月、ゴミ問題から4年かかったけれど、今はものすごく嬉しい」と正直な自分の気持ちを語ったことを覚えています。「なんとかここを住みよい地域にしたい」という一念が、成功につながりました。今では若い人たちも入居し、子どもの声もにぎやかな76世帯の大きな自治会となりました。



最後に久保さんに3つの質問に答えていただきました。

Q どんな子ども時代でしたか？また以前、住民運動などのご経験があるのでは？

A こうした運動は全くしたことがありませんでした。子どもの頃は、学級委員に選ばれても、人前でものを言えなくて困ったことがありました。ただ不思議なことに、気がついたらリーダー的な位置にいたということは、よくあったんですよ。

Q ここへ久保さんを引っ張ってきた夫は、ゴミ運動や自治会立ち上げなどに、どう関わられたのですか？

A それが何にも。(笑) ただ「お前でなければつとまらん」と言ってくれました。私がいろいろ動くことに対して、何も言いませんでした。

Q 女性で自治会長になる人にひとこと。

A 女性だからできないということは全くありません。何も専門的な知識は要らないし、力が要るということもありません。日々の家庭生活の延長で、目の前にある生活の困ったことを解決していくのですから、女性の方が向いているかもしれません。

政策や方針決定の場への女性の参画

ー津市「男女共同参画に関する市民意識調査《報告書》に見る⑤ー

にまるにまるさんまる

「202030」という数字の意味をご存知ですか。「2020年までに政治・経済・地域などの政策・方針決定の場で、女性が30%以上占めていること」という国の男女共同参画の目標です。タイムリミットまであと10年。目標達成のため、私たちに必要なものは何でしょうか。

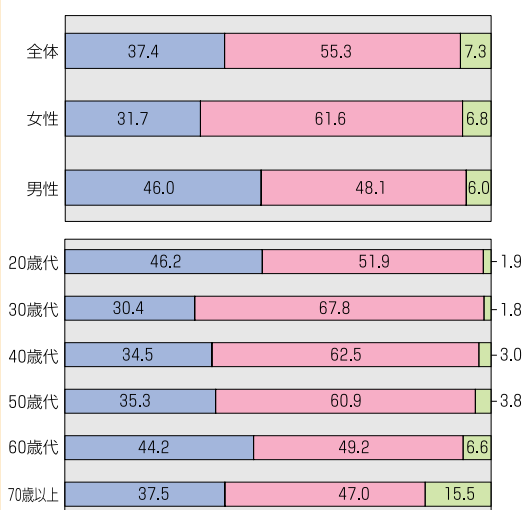
自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻など身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。



(2007年調査)
(グラフや表の数字は%)

役職への女性の推薦

■引き受ける・引き受けることを勧める ■断る・断ることを勧める ■不明



男性は「断ることを勧める」と「引き受けることを勧める」がほぼ同じです。しかし、当事者である女性の方が「断る」が「引き受ける」の倍近くあることがわかり、女性自身の意識改革が望まれます。また30～50歳代の結婚・子育て期に「断る」割合が高くなっています。

前の問いで「断る、または、断ることを勧める」とお答えの方にお尋ねします。その理由に最も近いものを選んでください。

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 (その他・不明以外)

	男性が多数を占める組織に入ることに抵抗を感じるから	活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから	活動外の付き合いが、わずらわしいから	家族や近所の人が快く思わないから	女性が役職につくことをあなたが快く思わないから	女性が経験が少ないから	家族の支援、協力が得られないから	家事、育児、介護に支障が出るから	その他	不明
全体	11.5	17.4	10.5	2.2	1.8	6.0	6.3	24.9	18.6	0.7
女性	12.2	15.3	9.8	1.9	1.7	5.7	8.6	25.6	18.2	1.0
男性	9.6	21.6	12.0	2.8	2.0	6.4	2.4	24.0	19.2	0.0

解決3
ポジティブ・アクション

女性が気後れせずに参加・発言できる、女性の数の確保が必要です。

解決2
ワーク・ライフ・バランス

家庭生活を考えた、効率のよい活動時間の保障が必要です。

解決1
性別役割分担の見直し

家族の世話が女性に偏っていることが、社会参画への障害になります。

用語解説 「ポジティブ・アクション」

積極的改善措置のこと。社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に関し、男女間の格差を改善するために必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することをいう。

(津市男女共同参画推進条例より)

理由のベスト3から分析する
3つの解決策

三重県男女共同参画推進条例や国の男女共同参画社会基本法、国連の女性差別撤廃条約にも同様の規定があります。

父親を楽しもう!!

今、もっと育児に関わりたいという男性が多くなっています。
メディアにも多く取り上げられているイクメン（育メン）です。
そこで、おやこカフェをOPENした元保育士の男性にお話をお聞きしました。

社会人としては「カフェ経営」というのが肩書きですが、自分の中での心づもりとしては、それと同等あるいはそれ以上の割合で、男の子二人の「おとーさん」であるつもりです

子育てできるのは 今だけ

店が終わって家に帰ると、食事、入浴、子どもを寝かせ付けたら一緒に朝まで寝てしまう

朝できるだけ早く起きて、自分の仕事をしようと思っても、夏場は子どもたちが動き始めるのがどんどん早くなり、5:30ころには兄弟で部屋に押し付けてきて遊び始める・・・(*_*)

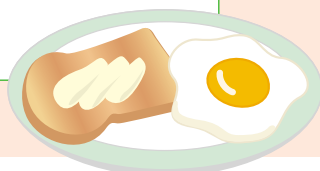
「おとーさんはいつ仕事したらいいんだ!」とさげびたくなることもあるのですが、そんなときは「子育てできるのは今だけ」と自分に言い聞かせ、今は出来る限り子育てを優先するのでかまわないのだ、と思うことにしています

おとーさんであることのシアワセ

なにより子育てはたのしい

関わりが深まるほど、どんどん楽しくなってくるちょっとした言葉や目くばせが、特別な意味を持っていたり、お決まりの遊びがあったり「こんな楽しいこと、やらなきゃソン!」と思うのです(^_^)

仕事を終えて自宅に向けて自転車をこぎながら、迎えてくれる家族があるシアワセをしみじみ感じる日々です



私は、高茶屋で、b-Cafeという
おやこカフェを経営しています。
ふたりの男の子、ママの
4人家族です。

b-Cafeって?

小さい赤ちゃんを連れた方たちにも、安心してご利用いただけるCafeです
子育てにかかわる人々のいいこの場所で、ほっこりとひとときを過ごせます



お問い合わせ 059-253-4959
定休日 日曜日
営業時間 11:00~18:00

子どもという鏡

「子育て、親育ち」という言い方がありますが、子育てのなかで自分自身が育てられてゆくのだと実感しています

人びとという鏡に写った「自分」と向き合いながら試行錯誤しつつ向上してゆくのが、この世で生きてゆくということの本質なのではないかと常々思っています

そういう点で子どもは、自分を知るための恰好の鏡だと思います

取り替えの利かない相手だし、真似て欲しくないところまでどんどん自分を写し取ってくれますね

そうやって家族と関わるなかで自分がゆたかになってゆくのだと思います

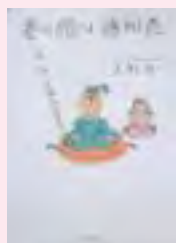




今回は、香良洲町**きらめき図書館**です。風光明媚なおだやかな所にあります。ちょっとのぞいてみてください。

妻の顔は通知表

《全国亭主関白協会会長の天野周一氏による》

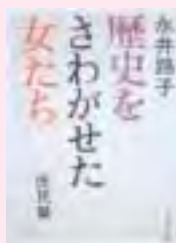


「夫婦がより良い関係を築くために」に「妻の尻にいかにか上手に敷かれるか」という抱腹絶倒の秘訣が書かれています。「家庭が変われば、社会が変わる」男女必読の書としてお勧めします。

2006年 講談社

歴史をさわがせた女たち 庶民篇

《歴史作家の永井路子氏による》



名もない庶民の女性たちがいきいきと生活していた様子を通して、日本女性史の裏側を、楽しく分かりやすく垣間見ることができる本です。ほかに、日本篇、外国篇があります。

1979年 文春文庫

忙しくて、なかなか読書の出来ない人など、また読書入門のツールとして、このCDやDVDを借りることができます。内容も豊富で朗読者の個性も楽しみながら、気軽に視聴してみたいかたがでしょうか。



CD・DVD視聴コーナー

本のリサイクルコーナー



利用者が、家庭で不要になった本を持ち寄って作ったコーナーです。読んだり、借りたり、持ち帰ったり、また、新たな本を持って来たり…。地域の方々に支えられた、きらめき図書館だけの常設の取り組みです。

●市内在住・在勤・在学の方は、どなたでも借りられます。 ●紹介の本は、市内の他の図書館で、所蔵していることがあります。 ●お近くの図書館に本がない時は、取り寄せてもらって借りる方法があります。 ●詳しくは、津市図書館ホームページ (<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp/>) または、図書館の受付窓口にお尋ねください。

三重県内男女共同参画連携映画祭「アイスエイジ3」から…

上映後のアフタートークでは、「楽しかった!」という子どもたちの言葉そして、「好きなキャラクターは?」の問いかけに、「トラ!」

うまく言葉には出来ないけれど、仲間を救い出すために戦うキャラクターからなにかを感じたようです。

編集後記

皆様に楽しみながら興味深く読んでいただける内容にしたい、男女共同参画の輪が広がりますようにという編集委員の思いが、いっぱい詰まった「つばさ」をこれからもよろしくお願ひします。(初心者編集委員 高橋礼子)

